

6 - 6 阿寺断層北部における最近の地震活動

Recent Seismic Activities in the Northern part of Atera-fault and its Vicinity

名古屋大学理学部高山地震観測所
Takayama Seismological Observatory, School of Science
Nagoya University

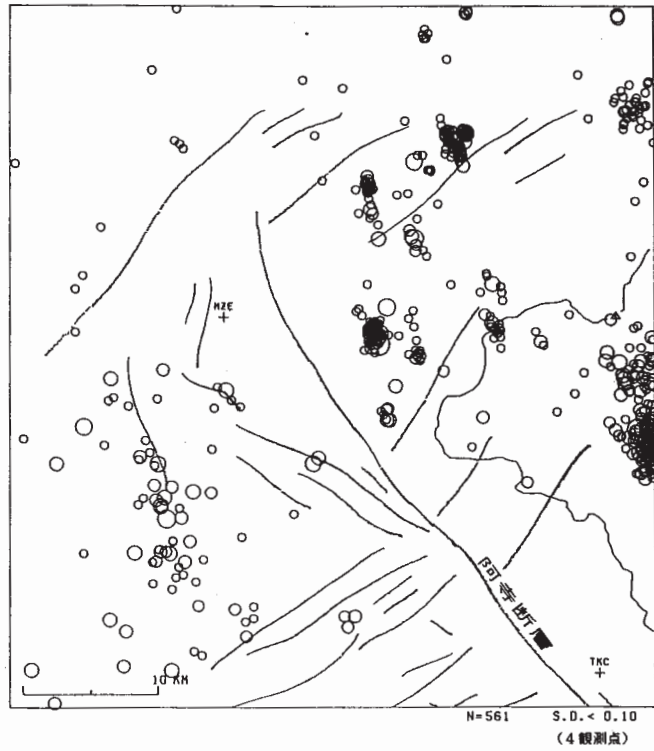
阿寺断層沿いの地震活動は断層の周囲にくらべて低いとされていた^{1),2)}。名古屋大学理学部高山地震観測所がテレメータによる観測を開始した1977年12月より,1980年3月までの約3年間の活動(第1図)を見ても断層沿いの地震の活動は極めて低い事がわかる。

第2図は現在の観測網による1980年4月1日から1984年3月16日までの震央分布図である。第1図の観測点の配置を考慮すれば断層北部の地震検知能力は現在とさして変わらないであろう。図に示す様に1980年にはマグニチュード2以上の地震(最大 $M = 3.7$)が5月,7月,8月,10月に発生している。1981年から1982年には以前の状態の様に不活発であったが,1983年10月には最大 $M = 4.5$ の地震とその余震が発生し,1984年3月には断層の北端部に $M = 3.2, 2.5$ の地震が発生して活発化の傾向を見せている。

主な地震の発震機構を第3図に示す。どの地震も北西-南東方向の圧縮応力を示しているが,いづれもこの地域の活断層の走行とよく調和している。

参 考 文 献

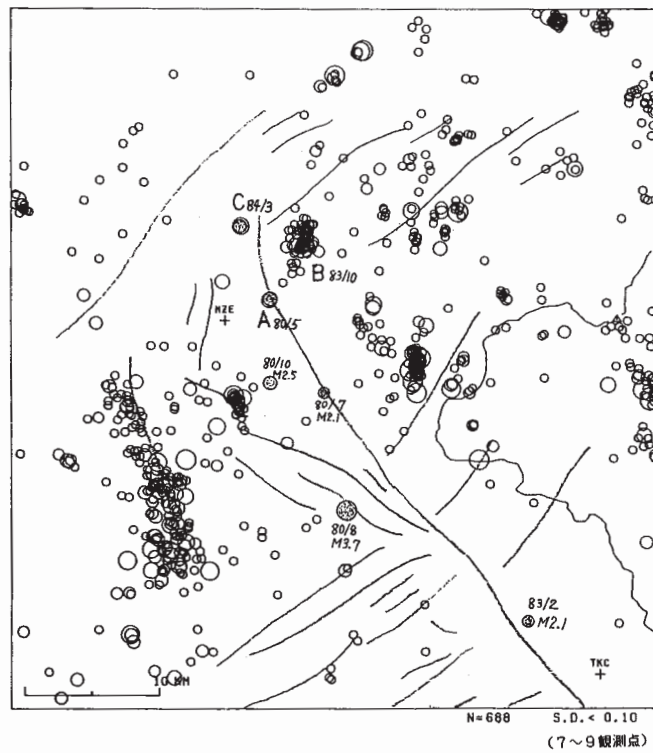
- 1) 渡辺史郎, 飯田汲事: 阿寺断層付近の微小地震活動, 地震, II, 22 (1969), 348.
- 2) 伊神輝, 安久勉, 青木治三: 阿寺断層付近の低い地震活動, 地震, II, 25 (1972), 232 - 242.



DEC. 26 '77 - MAR. 31 '80

第1図 阿寺断層北部の地震活動（1977年12月26日～1980年3月31日）

Fig. 1 Shallow earthquake activities in the northern part of Atera-fault and its vicinity (December 26, 1977 - March 31, 1980).

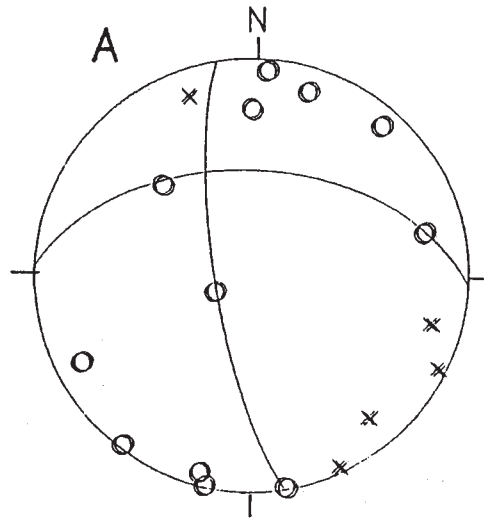


APR. 1 '80 - MAY. 16 '84

第2図 阿寺断層北部の地震活動（1980年4月1日～1984年3月16日）

Fig. 2 Shallow earthquake activities in the northern part of Atera-fault and its vicinity (April 1, 1980 - March 16, 1984).

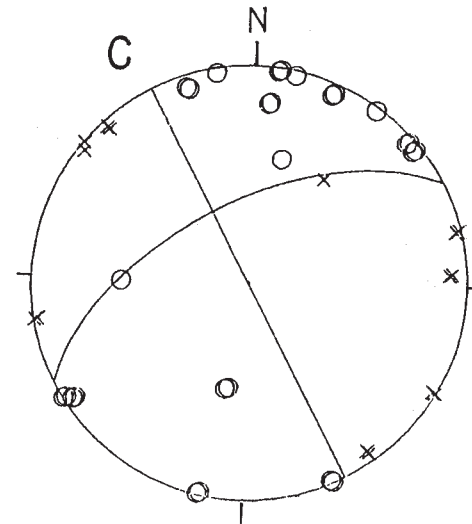
メカニズム解：上半球等積投影、○：UP ×：DOWN



1980年5月31日

02時12分 M2.9
05時23分 M2.6

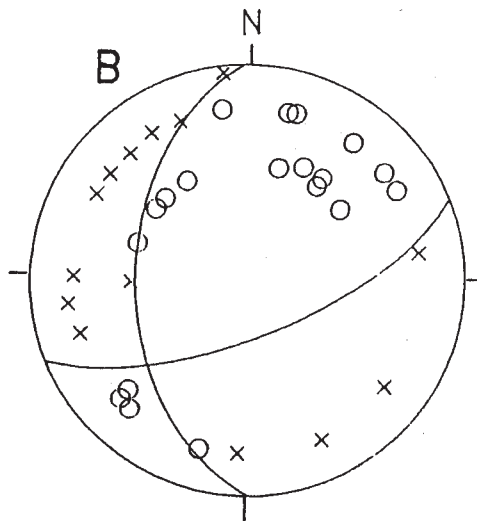
重ね合わせ



1984年3月28日

10時54分 M3.2
10時58分 M2.5

重ね合わせ



1983年10月6日

14時20分 M4.5

第3図 阿寺断層北部の主な地震の発震機構

Fig. 3 Fault plane solutions (projected on upper hemisphere) for major earthquakes in the northern part of Atera-fault.